

いろいろむらには、初めて来る人も「今日が10回目!」のような気持ちで滞在できる温かさがあります。自然に囲まれたこの場所で、タイムスリップしたような優しい時間を一緒に過ごしませんか…?



▲鼻をくすぐる優しい木の匂い、そして光の入る窓からは時期になると赤そばの花畑が見渡せます

いろいろむらでは「福地いろいろむら通信」を発行中です。むらの活動や参加者の声が、十人十色で描かれています。

(1冊100円 H27.12月時点)



▲山頂の看板には905メートルと書かれています

◀見行山の頂上から見渡す景色は圧倒的! 福地地区の向こうには久田見地区も見えます

けんぎょうざん 見行山から福地を臨む

福地小学校開校時には、年に一度生徒が見行山に登っていたそうです。その思い出もすっかり山頂に残っていました。大人になった彼らが、もう一度山頂に行ったときに、それを見て笑顔になることでしょう。

福地地区を見守る、地域の母とも言える山「見行山」。その見行山の登山道を作る工事が、まもなく着工を迎えようとしています。計画されている登山ルートは、いろいろむら母屋を出発し、緩やかな山道を辿って、第一展望台へ向かうものです。健脚な方で30分ほど掛かると予想されます。さらに、そこから勾配が急な山道を登り、山頂の第二展望台へ。高さは905メートルで、そこから見渡す町並みはまるでミニチュア模型のよう。遠くまで連なる山々を一望できます。今から登山道の開通が楽しみです。

ルビーの絨毯

高嶺ルビーの花畑を楽しむ人々▶

通称は「赤そば」と呼ばれる高嶺ルビー。時期になるといろいろむらの母屋周辺に、まるで絨毯を敷き詰めたかのように可憐な紅が咲き乱れます。その光景はため息を吐きたくなくなるほど美しく、見る人も思わず表情を綻ばせます。赤そばは、通常の白そばよりも栄養価が高い品種です。いろいろむらでは、収穫のみを目的とせず、緑に囲まれた中の紅といった景観美も考えているそうです。

